

身延山資料叢書 一

目錄集 一

身延山大学 東洋文化研究所

身延山資料叢書 一

目錄集 一

身延山大学 東洋文化研究所

目次

凡例	2
身延山久遠寺御靈宝記録	5
身延山久遠寺蓮祖御真輸入函之次第	45

凡 例

本書に収録した日乾筆『身延山久遠寺御霊宝記録』並びに日遠筆『身延山久遠寺蓮祖御真輸入函之次第』は、何れも山梨県南巨摩郡身延町に所在する身延山久遠寺身延文庫に所蔵される。両書は共に山川智応『日蓮聖人研究』第二卷（新潮社、一九三一年）に全文が翻刻紹介され、『身延山久遠寺御霊宝記録』は更に立正大学日蓮教学研究編『昭和定本日蓮聖人遺文』第三卷（総本山身延山久遠寺、一九五四年）にも翻刻が収録される。従前の翻刻においては、原本における文字の配置や加筆・訂正等について、活字本文に反映させることが困難な部分があったため、本書においては全編を写真版により収録した。写真版の下方には、丁数を示した。なお、原本保護の点から、写真版の一部に不十分な点があるが、了とされたい。

両書の書誌については、以下の通りである。

『身延山久遠寺御霊宝記録』

・架蔵番号 当山部第二十一世日乾A六

・法量 縦三一・七センチメートル×横二一・八センチメートル 袋綴一冊

上述の法量は裏打紙を兼ねた補紙を含むものであり、本紙は縦二七・九センチメートル×横四一・三センチ

メートルの料紙を二つ折りとする（修理に伴う調査による）。

『身延山久遠寺蓮祖御真輸入函之次第』

・架蔵番号 当山部第二十二世日遠A二九

・法量 縦三一・八センチメートル×横二一・八センチメートル 袋綴一冊

上述の法量は裏打紙を兼ねた補紙を含むものであり、本紙は縦三〇・八センチメートル×横四二・七センチメートルの料紙を二つ折りとする（修理に伴う調査による）。

両書共に近年、修理が行われており、保存を考慮して従前の表紙から新しい表紙へと交換された。本紙の裏打紙を兼ねた補紙も交換されている。表紙に貼付された「身延山本院」蔵書であることを示す大型のラベル（朱印）には「明治四三年調」とあり、表紙見返に同四十二年（一九〇九）九月に就任した七十九世小泉日慈の花押印（朱印）が押印される。これらにより、両書に見られる旧表紙の添付、本紙の補紙を兼ねた裏打ちなど一連の補修が行われたのは、明治四十三年であると判断される。この度の修理では、表紙に貼付されていた身延文庫の架蔵番号を示すラベルを新たなものに交換しているが、題箋・蔵書ラベル並びに表紙見返は修理前の位置に復されている。

両書を収録刊行するに当たっては、所蔵者である身延山久遠寺御当局のご理解とご許可を賜った。また、身延文庫並びに宝物館の関係各位には、原本の調査に特別のご高配を頂いた。記して感謝申し上げます。（寺尾英智）

身延山久遠寺御靈宝記錄

身延山久遠寺

蓮祖御真翰入函之次第

身延山資料叢書 一 目錄集 一

平成二十三年三月三十一日 発行

編集 寺尾英智（本巻担当）

発行所 身延山大学 東洋文化研究所

〒四〇九―二五九七

山梨県南巨摩郡身延町身延三五六七
Ⅸ（〇五五六）六二―〇一〇七